

### 2月の図書館イベント

#### 中央図書館映画上映会(入場無料)

『色あせてカラフル』

<上映時間:60分>

●日時 10日(金) 開場18:30 上映19:00~

●場所 穂高交流学習センター「みらい」  
多目的交流ホール

#### ドキドキ・ワクワクおはなし会

◇ 中央図書館  
おはなしのとびら おはなしのへや  
1・8・15・22日(各水曜日)

10:30~(乳幼児以上対象)

おはなしとしゃかん おはなしのへや

◇ 豊科図書館  
ちいさいたんぼぼ 多目的室

18日(土) 10:30~(乳幼児以上対象)

◇ 豊科図書館  
ちいさいたんぼぼ 多目的室

17日(金) 11:00~(乳幼児対象)

◇ 豊科図書館  
おはなしたんぼぼ 多目的室

17日(金) 16:30~(幼児以上対象)

◇ 三郷図書館  
ポケットの会 三郷文化公園体育館1階会議室

11日(土) 10:30~(乳幼児以上対象)

◇ 堀金図書館  
おはなしのへや 絵本コーナー

21日(火) 10:30~(乳幼児以上対象)

16:30~(幼児以上対象)

◇ 堀金図書館  
おりがみのへや 絵本コーナー

22日(水) 16:30~

◇ 明科図書館  
ひまわりおはなし会 おはなしの部屋

25日(土) 11:00~(乳幼児以上対象)

#### 三郷公民館 料理教室②

三郷公民館内三郷地域課地域担当  
TEL77・2109 FAX77・6060

季節にあわせた料理教室を開催します。

●日時 2月24日(金) 午前9時30分~午後0時30分

●場所 三郷公民館 調理実習室

●内容 ひな祭りの飾り寿司2種、ローストポーク、館入り白玉胡麻団子等

●講師 高橋清美さん

●定員 24人(先着順)

●参加費 1000円(材料費含む)

●持ち物 エプロン・三角きん・ふきん・筆記用具・巻き寿司用のすだれ(用意できる人)

●申し込み 1月31日(火)に三郷公民館へ電話で申し込みください。(受付時間は、午前9時~午後5時)

●豊科公民館 平成29年度大ホール予約受付

豊科公民館内豊科地域課地域担当  
TEL72・2158 FAX73・6401  
平成29年度の豊科公民館大ホールの予約を受け付けます。

●予約可能期間 4月1日(土)~平成30年3月31日(土)

●予約方法 2月20日(月)から

#### 豊科郷土博物館の催し

TEL72・5672 FAX72・7772

●第33回白鳥写真展~白鳥飛来の思い出・私の一枚~作品募集  
市内で撮影した白鳥や白鳥に関する写真を募集します。本年度は全国各地で高病原性鳥インフルエンザが確認され、撮影が困難なため、初飛来から昨シーズンまでの写真を募集します。



●受付期間 3月1日(水)から31日(金)の間に郷土博物館窓口へ持参ください。(受付時間は、午前9時~午後5時)

豊科公民館窓口で申し込みください。(受付時間は、午前8時30分~午後5時)

●注意事項 ホール以外の会議室の予約受付は、使用日前月の1日からです。(ホール使用に伴う会議室予約は除きます) 4月の会議室の予約受付は、3月1日(水) 午前8時30分から豊科公民館で行います。

#### 豊科近代美術館の催し

TEL73・5638 FAX73・6320

●市中学・高校美術部展  
市内の中学校・高校美術部による合同作品展を開催します。市内11校の美術部生徒が、部活動で制作した水彩画、デッサン、アクリル画、油彩画など多彩な作品を展示します。また、ポスターやチラシのデザイン、展示作業等も美術部生徒が行います。



●日時 2月7日(火)~26日(日) 午前9時~午後5時(最終日は午後1時まで)  
※入場は閉館の30分前まで

●場所 美術館2階展示室・新館大展示室

●観覧料 無料(常設展は有料)

●休館日 月曜日(月曜日が祝日の場合はその翌日)

●美術館友の会手仕事くらぶ おひなさまづくり  
美術館友の会会員を講師におひなさまを手作りします。

●日時 2月22日(水) 午前9時30分~正午

●場所 近代美術館オリエンテーションルーム

●講師 平田米子さん

●定員 20人(先着順)

●参加費 一般1500円、友の会会員1400円

●持ち物 裁縫道具

●申し込み 1月31日(火)から豊科近代美術館窓口または電話で申し込みください。(受付時間は、午前9時~午後5時)



#### 第62回友の会書芸展

博物館友の会書芸部の皆さんが新春にふさわしい内容の色紙掛け軸と大型作品の新作を発表します。筆遣いから感じられる文字の異なる表情をお楽しみください。

●期間 2月4日(土)~23日(木) 午前9時~午後5時(入館は午後4時30分まで)

●場所 郷土博物館 2階展示室

●入館料 大人100(80)円

●その他 2月9日(木)の午後2時から書道部部长千野秀濤さんによるギャラリートークを開催します。参加は無料です。(別途入館料が必要です)

#### 再発見!安曇野の文化 その57

文化課文化財保護係  
TEL71・2465 FAX71・2338

#### 家々の正月料理

お正月、皆さんの家庭ではどんな料理を食べましたか?

元日の朝、家族そろってお茶を飲む家も多いでしょう。その際、「まめめめ」と「くりまわしよく」「かきこむ」「千が万に」などといって、豆、栗、柿、せんべい、まんじゅうなども食べます。そのあと食べる雑煮は、具が野菜、鶏肉、鯛や鮭の切り身など、家によってさまざまです。また雑煮は食べず、「粘り強く」「福をすすり込む」から、芋汁を作る家もあります。

正月料理は家庭によって異なるというものです。これからも家々で受け継がれてきた食文化を守り伝えていきたいものです。

なお、市役所1階では1月31日(火)まで、家々の年取りや正月の行事や料理を紹介したコンパクト展示「正月様どこまでござった?正月うちゅうもんはいいもんだ!」を開催しています。



正月料理の例

#### おすすめの冊 青い水の哀歌

井上 輝夫/著



紹介する人 佐藤 明さん (明科・七貴)

三日月は爪  
赤松の太い弦を  
はじめてゆく  
かすかな月あかりの  
ひびきに  
せせらぎが喝采する  
さやかに

これは井上輝夫さんが一昨年出版した詩集「青い水の哀歌」冒頭の詩です。穂高有明の居宅からの情景と想われます。

この詩集の第1章は「あづみ野」と題し、終の棲家と定め、こよなく愛したこの地を21篇の詩で詠いあげています。言葉を紡ぎ、詩の持つ本来の可能性を追求し理想の高みに達したと言える詩集です。「詩を音楽にしたい」という信条は安曇野を交響詩のように奏で、読む人の心を打ちます。

井上さんはこの著を出版した2カ月後の一昨年8月に惜しまれながら75年の生涯を閉じました。